

天縛山蓮乘院無量寺



平成さがみはら風土記稿による蓮乘院の縁起

蓮乘院は、東橋本のバス停「小山本町」より北へ 200m のところにある真言宗智山派寺院です。『風土記稿』によると、薬王院（八王子市高尾）の末寺で、山号を天縛山といい、阿弥陀如来を本尊としています（現在の本尊は不動明王）。また小山村の鎮守である天縛皇神社の別当であり、阿弥陀堂などを持っていました。慶安 2 年（1649）には朱印地 8 石 4 斗が与えられています。その創建について寺伝では、天文 3 年（1534）に長尊という僧が安楽坊と法泉坊という小堂を合わせて一院として開き、それを元和元年（1615）から翌年にかけて、円西が再建したと伝えています。やがて享保 9 年（1724）に薬王院の新末寺に編入されています。

当寺には清兵衛新田の開発で知れる原清兵衛の墓碑がありますが、天保 14 年（1843）、この新田の開発にあたり江川代官所の役人たちは本寺を宿泊所としてその職務にあたっています。また、脇侍の薬師如来は江戸の人々にも信仰されていたと伝えられ、戦時中に供出した梵鐘は江戸講中によって寄進されたものといわれています。

なお、当寺も江戸時代には寺小屋が開かれ、明治時代には「養麟学舎」が開校されています。（平成さがみはら風土記稿より）

東橋本・蓮乘院住職岡崎秀健さんによる「蓮乘院と小山」と題してのお話
（小山公民館ホームページより） UR

http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kouminkan/oyama-k/mukasigatari/mukasi07_06.html

鬱蒼とした木立の中に点在する建屋の間にきれいな庭園が広がる閑静な場所です。

庭園は手入れよくきれいでゆっくりと楽しむのうってつけと思われます。行ってみる価値は十分にある見どころの多いお寺です。



手水舎



本堂



客殿



鐘楼



庭園1



庭園2



庭園3



表門